

計算——物品の集合、二十、三十、四十、五十まで(各自の袍)——二分の一、三分の一、四分の一。

簡單なる暗算法、加法、減法、乘法、除法——一より五十までの數の發表。

簡單なる筆算、圖解を伴ふもの——米、^{メートル}法、^{フラン}立、^{リトル}重量(秤、砵、半砵)を用ひての練習及び遊戯。

圖畫——進歩を示す爲に帳面上に一週一回鉛筆自由畫——臨畫——影繪、縁取、前の如き物品の並列及び集合に依る薔薇型の裝飾——之等の組合せの黒色又は色彩の上に(紙、石板)見取り圖を寫す。四角の紙に左右相稱の圖案(ミシン縫、兒童圖案に成る刺繡)——簡單な日用品の寫生、あらゆる粗描。

讀方——上級になつて始めて教科書により初歩の讀方を教へ、讀本の文を速かに寫記させる。

以上は條文をそのまま譯出したものであるが、これによつて見ても、フランスの幼稚園に於ける保育の内容が、特に「上級」に於て、著しく小學校の「教育」に近いことが知られる。

お伽噺の王さま

百周年をたゞへる式

お伽噺の王さまアンデルセンが、二世に出て百周年を記念する催しのうち日本童話協會の「童話研究」記念特輯號の贈呈式は八月十三日午後五時半から神田一ツ橋學士會館で舉行された。主賓デンマーク代理公使ヘルゲル氏、在日デンマーク人會主事ヘダーセン氏、日本童話協會理事長蘆谷藤村氏、日本デンマーク協會佐野伯、外務省柳澤健氏、文部省社會教育官森明磨氏ら多數の名士が出席、植村P.C.L.社長令嬢百合子(九つ)さんから見事な出來榮えをみせた特輯號をヘルゲル代理公使に贈つて式をなほり、ついで別室の懇親會にいり文豪アンデルセンを中心に追憶の花を咲かせた。なほこの特輯號はデンマーク王室に獻納されるのをはじめ同國の圖書館、學校、各地のデンマーク人會等に寄贈するものである。

——讀賣新聞より——